

紀南病院におけるAMR活動

紀南病院 内科主任部長兼医局長 中野好夫

当院での取り組みとして、① unnecessary 抗菌薬の処方控える。(2018年6月1日第66回日本化学療法学会総会 AMR活動前後における外来経口抗菌薬使用量の推移) ② 抗菌薬適正使用の推進(抗菌薬適正使用支援チーム(AST)活動開始による抗菌薬適正使用への取り組み 2019年2月2日日本医療マネジメント学会第14回和歌山支部学術集会) ③ ガイドラインに沿った治療への取り組み(2017年2月25日第32回日本環境感染学会総会・学術集会)を行っている。また当院では毎年11月を「薬剤耐性(AMR)対策推進月間」に設定講演、勉強会を開催しています。病院職員ひとりひとりがAMRの問題を意識し、取り組めるよう促してまいります。

また動物からヒトへ伝播する感染症(動物由来感染症)は、ヒトにおける感染症のうち半数以上を占めると推定される。そこで当院では特に動物由来感染症の診療支援を行っている。動物由来感染症の中でも近年国内でヒトの感染が確認されている重症熱性血小板減少症候群(SFTS)を含めたダニ媒介性感染症診断治療の相談([健感発0412第1号](#))、診断が難しいカプトサイトファーガ感染症の診断(IDCases. 2017 Aug 5;10:18-21)、まれな消化管感染症の診断(シカ生肉の喫食で発症した *Sarcocystis truncata* による食中毒の1例 Intern Med. 2019 May 22. doi: 10.2169/internalmedicine.2817-19.)等を行い地域医師会との勉強会を通じて情報を共有化している。

2018年11月 紀南病院での薬剤耐性(AMR)対策推進月間活動

